

広域予備率 Web 公表システム中地域交流ループ対応（基本設計～リリース）
 に関する業務委託の実施について
 （案）

1. 本委託の概要

2026年4月に中地域交流ループ運用を開始する予定である。広域機関システムの開発が進み、広域予備率 Web 公表システムでの要件が固まったため、必要となるソフトウェア機能の改修に向けた基本設計～リリースに関する業務委託を実施する。

2. 調達方法

(1) 調達先選定：随意契約

【理由】

本業務委託は、広域予備率 Web 公表システムの既存機能を改修する必要があるため、過去に開発を行い、かつ現在運用保守を行っている契約先、株式会社日立製作所以外では安定した開発品質の実現および、高可用性が求められるシステム運用の継続が困難となる。

よって、会計規程第23条第1項（1） 契約の性質又は目的が競争入札を許さないときに該当すると判断できるため。

(2) 調達予定先：株式会社日立製作所

3. 契約期間

契約締結日～2026年4月17日（予定）

4. スケジュール

2025年12月 契約締結（予定）。契約締結時は改めて理事会に付議する。

表 契約概要

件名	広域予備率 Web 公表システム中地域交流ループ対応（基本設計～リリース）に関する業務委託
目的	広域予備率 Web 公表システムでは連系線の利用状況（計画潮流、空容量）を公表している。中地域交流ループの運用開始に伴い中地域エリアの連系線がフェンス管理に変更されるため、公表画面での表示も個別からフェンスに変更するシステム開発をする。
契約内容	基本設計～リリース
契約先	株式会社日立製作所
契約期間	契約締結日～2026年4月17日（予定）
契約形態	委託契約（請負）

以上

【添付資料】

別紙：システム仕様書「広域予備率 Web 公表システム中地域交流ループ対応（基本設計～リリース）に関する業務委託」

別紙は情報管理規程第 4 条（情報の格付の区分）の規定に基づく秘密情報に該当するため非公表とする。